

一般社団法人コミュニティネットワーク協会

2022 年度事業報告

I 2022 年度の重点活動

一般社団法人コミュニティネットワーク協会は、企業・団体・個人・自治体など様々な協力者のもとに、一人一人の生活者、一つひとつのコミュニティが相互に個性を生かしつつ支えあう、豊かなコミュニティ社会の実現を目指して活動しています。

今期も、昨年に引き続きこれまで進めてまいりました新たな地域コミュニティの拠点と在宅での生活を支える仕組みの展開ならびに「生涯活躍のまち移住促進センター」の運営を継続しながら、新たに地域コミュニティを推進していくための人材、地域プロデューサーの養成を重点課題として推進してきました。

1. 「100 年コミュニティ」構想に基づく、コミュニティの拠点づくりの展開

2022 年度は、コミュニティ事業の開発・構築・普及を行う目的で開催している「100 年コミュニティをつくる会」の活動を継続し、関東・関西を中心に展開してきました。その取り組みは、子どもから高齢者まで、さまざまな価値観を持つ人たちが、世代や立場を超え、お互いの生活を尊重しながら、ともに支え合う仕組みのある「コミュニティ」づくり、それらを持続していく仕組みを持つ「100 年コミュニティ」として作り上げてきました

1) としま 100 年コミュニティ・プロジェクト

2019 年度国交省「人生 100 年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に選考された「空き家を活用した『としま福祉支援プロジェクト』」を展開中。23 区で最も空き家率が高い豊島区において、2020 年 6 月に開設した、空き家を活用したセーフティネット住宅「共生ハウス西池袋」（高齢者・障害者・生活困窮者の入居を断らない専用住宅）に続き、2021 年 11 月「共生ハウス池袋二丁目」（6 戸）、2023 年 4 月「共生ハウス西池袋 2」（3 室）を開設し、合わせ全 13 戸が満室となっています。

2020 年 7 月に開設した「共生サロン南池袋」で展開する健康麻雀サロンの運営にあたっては、コロナ感染拡大の弊害を軽減するよう感染防止策を徹底しました。

新たな取り組みとして、プロの講師による初心者向けの講座を開くなど参加のすそ野を広げる活動を展開しました。共生ハウス池袋二丁目の入居者が豊島区の取り組みのつながるサロン（通所型サービス B）として将棋サロンを毎週開催する参加型運営が始まっています。外部講師を招いた毎週土曜日の卓球教室も継続中です。

2) 多摩ニュータウン 100 年コミュニティ・プロジェクト

2020 年 7 月、東京都住宅供給公社が公募した「多摩ニュータウン愛宕第二住宅及び松が谷住宅における地域交流拠点等整備・運営事業者募集（公募型プロポーザル）」に選定されました。さらに 2020 年 12 月、国交省「人生 100 年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に当協会が提案した「団地プロデュース型コミュニティ再生計画」が選考されました。東京都住宅供給公社より八王子市松が谷と、多摩市愛宕の空き店舗を 2 カ所を借り受け地域コミュニティの拠点を整備・運営する事業です。

八王子市松が谷の空き店舗を活用した地域コミュニティの拠点づくりとして、2021 年 3 月開催の地域住民説明会を経て、2021 年 4 月からは、「多摩ニュータウンで暮らし続けるしくみをつくる会」を毎月開催し、地域住民のニーズの把握に加え、具体的な事業化に向けた定期的な協議の機会を持ちました。年度末までの参加者の総数（述べ人数）は、600 人に上りました。

また、店舗ののきさきにあたるスペースを借り受けて週 2 回開く「相談窓口」では、地域住民の方々の話を聞く中で、在宅介護の不安、子育て環境の充実、障害者の働く場づくりなどコミュニティの拠点での事業化を進める具体的な計画づくりを進め、2022 年 7 月に開設しました。

2021 年 9 月からは、愛宕第 2 住宅の空き店舗を活用した地域コミュニティの拠点づくりに取り組み高

齡化を共通の課題とする住民のニーズを整理し、①相談窓口②カフェ・居酒屋③貸しスペース(コミュニティビジネス)④デイサービス事業などの具現化に取り組んでいます。2023年3月に内装工事完了し、国交省のモデル事業の施設整備及び広報活動は計画期間内に完了しました。

プロジェクトの推進のため、松が谷地区と愛宕地区で、住民参加型学習会(つくる会)を開催しました。

<開催日時・場所>

- ① 6月18日 10:00-12:00 @松が谷集会所 開催 参加者 50名
テーマ: 事業・プロジェクトの進捗・分科会
- ② 7月2日 10:00-12:00 @あたごかえで館 開催 参加者 26名
テーマ: 地域で活躍できる仕組みづくり
- ③ 8月6日 10:00-12:00 @あたごかえで館 開催 参加者 30名
テーマ: 交流拠点を使って社会実験をしてみよう
- ④ 9月17日 10:00-12:00 @あたごかえで館 開催 参加者 33名
テーマ: 10月から始まる社会実験の作戦会議
- ⑤ 10月22日 10:00-12:00 @あたごかえで館 開催 参加者 38名
テーマ: 11、12月の社会実験「ケアと相談会」「マルシェ」の作戦会議
- ⑥ 11月19日 10:00-12:00 @愛宕交流拠点(対象地) 開催 参加者 14名
テーマ: 12月の第3回の社会実験「マルシェ」の作戦会議
- ⑦ 1月18日 10:00-12:00 @あたごかえで館 開催 参加者 29名
テーマ: 10-12月の社会実験の振り返り
- ⑧ 2月18日 10:00-12:00 @あたごかえで館 開催 参加者 19名

また、以下のようにセミナーとイベントを開催しました。

<セミナー>

- ① セミナー 7月17日 13:00-14:00@まつまる(対象地) 開催 参加者 40名
・テーマ: 「NEWTOWN TALK」
・外部講師: 柏井万作様
- ② セミナー 12月17日 18:00-20:00 @パルテノン多摩 開催 参加者: 85名
・テーマ: これからの多摩ニュータウンで『できたらいいな』の実現方策を考えるトークセッション
・外部講師: 東邦レオ 吉田啓助様(西部ガス 今長谷様、宗像市 内田様)

<イベント>

- ① イベント 10月22日 12:00-16:00@愛宕第二住宅(対象地) 開催
・テーマ: 「カフェ&居酒屋」 ・来場者: 104名程度
- ② イベント 11月19日 12:00-16:00@愛宕第二住宅(対象地) 開催
・テーマ「ケアと相談」 ・来場者: 50名程度
- ② イベント 12月17日 12:00-16:00@愛宕第二住宅(対象地) 開催
・テーマ: 「マルシェ」 ・来場者: 150名程度

3) 那須100年コミュニティ・プロジェクト

(1) 那須まちづくり(株)向け支援

①那須まちづくり(株)が毎月開催する「人生100年・まちづくりの会」の開催・運営の支援

・那須11回

4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、8月20日、9月17日、
10月15日、11月19日、12月17日、1月21日、2月18日

・東京10回

5月28日、6月25日、7月23日、8月28日、9月25日、
10月23日、11月27日、12月19日、1月17日、2月15日

②終活、生活設計、サービス付き高齢者住宅とは、地域包括ケアなどのセミナー開催支援

(2) 暮らしと住まいの情報センターの運営

一般財団法人一柳ウェルビーイングライフとの連携により7月に東京渋谷に情報センターを開設、これを機に情報センターの体制を以下のように再構築しました。

①東京(渋谷)

- ・高齢者住宅情報センター
- ・多世代住宅情報センター
- ・シェアハウス情報センター

②東京(多摩)

- ・高齢者住宅情報センター
- ・多世代住宅情報センター
- ・シェアハウス情報センター

③東京(池袋)

- ・障がい者情報センター

④那須

- ・高齢者住宅情報センター

(3) 合葬墓

1) 那須

4月:見学会にそなえ現状確認:杉村、鐙木、佐々木、近山

5月:ゆいま〜る那須の入居者向け見学会;参加11名

ゆいま〜る那須の入居者向け説明会:参加3名

6月:墓碑彫刻完成

7月:ゆいま〜る那須入居者納骨(2回)

3月:ゆいま〜る那須入居者・ペット納骨

・2022年度にま〜る墓碑に2組の申込がありました。

2) その他

終活についてのセミナー支援などの活動はありませんでした。

2. 会員の拡大

当協会の活動をより多くの方々に広めていくことが、一般社団法人コミュニティネットワーク協会にとりましては、現在の時世の流れにおいて、より重要な役割となっています。コミュニティの拠点づくり活動を核として、よりいっそう個人会員の拡大、共に理念実現に向けて連携していく法人・団体会員の拡大をするために活動をしてきました。

II 定款事業計画

1. 社会の変革に対応し、人間性豊かな、住民自治に基づくコミュニティづくりを具体的に探求するための調査・研究及び提言等を行う（定款第4条（1）事業）

1. 委員会活動

（1）まちづくり委員会

最後まで安心して暮らせる住まい、のびのびと子育てができる空間づくりは、地域にとっても必要な課題です。多世代が共に豊かに暮らせる地域にするために、地域の生活者ニーズに合った、コミュニティの構想、環境や資源の問題への配慮・問題解決とも絡めて、自治体・NPO・企業などと連携しながら豊島、多摩、那須でまちづくりを進めてきました。

（2）完成期医療福祉委員会

一人ひとりが充実した最期をもって人生を完成させるために、自らが望む生活、納得できる場を追及し、そこに寄り添える場、コミュニティの拠点として可能な場づくりなど、完成期医療福祉の構築ができるように啓発活動と、昨年からはじめた話し合いの場を継続し、調査・研究を進めました。

有識者を集め、一回目の介護連絡会を10月26日（水）に渋谷の情報センターで開催しました。12名が参加、今後連携して介護の課題に対応することしました。喫緊の課題として介護保険改悪問題があります。今後の活動のためにメーリングリストを作成しました。

（3）コミュニティファンド委員会

地域の拠点づくりを行う上で大きな課題となる財源を、地域事業を支援する市民が輩出する「コミュニティファンド」による資金調達が可能か、まちづくりを継続するために必要な資金をコミュニティファンドという仕組みで広げていくことが可能かなど、問題解決を行うための調査・研究を引き続き行ってきました。

当協会の寄付の受け皿として公益財団法人・信託資本財団の「あなたの信託基金」の立ち上げを検討、次年度に立ち上げることをしました。当協会固有のファンドも立ち上げる方針をたて、必要となる「基金管理規定」について調査をしました。

<https://shinrai.or.jp/donation/make-fund/>

2. 調査・研究事業

<在宅ケアを支えるシステム>の制度設計調査研究

暮らしと住まいの情報センターでは高齢者住宅への住み替え相談業務を主として対応していますが、相談者のニーズ調査の結果、本音は「自宅にぎりぎりまで暮らしたい」「介護が必要になった時は不安だが、それまでは自宅がよい」という意見が多く、これらのニーズに応えるために、在宅でも安心安全に暮らせる地域ケアシステムづくりの調査・研究を進めてまいりました。那須プロジェクトで構築したサービス付き高齢者向け住宅「ひろばの家・那須2」で定期巡回が始まり、那須地域を主な調査・研究フィールドとしました。

2. コミュニティづくりを推進するための事業を開発し、事業の運営組織のネットワークを構築し、コミュニティ事業を普及する「暮らしと住まいの情報センター」事業（定款第4条（2）事業）

高齢者の福祉と権利擁護の増進事業

1) 暮らしと住まいの情報センターの常設

情報の受発信や、相談を受けて問題解決する場として、高齢者住宅、ふるさと暮らし、地域再生を柱とした「暮らしと住まいの情報センター」を常設しています。東京（渋谷※・多摩・池袋）と那須の情報センターではウェブ等で情報発信するほか、専門の相談員による住みかえを主とした相談業務を行いました。なお、吉祥に設置していた大阪の情報センターは8月に閉鎖し、新しい設置場所を検討中です。

※2022年7月に開設

居住支援法人の活動

1) 2020年6月東京都の居住支援法人の指定を受けました。居住支援法人は住宅セーフティネット法に基づき、居住支援を行う法人のことです。住宅相談など賃貸住宅への円滑な入居にかかる情報提供・相談、見守りなど要配慮者への生活支援、これらに付随する業務などを他の居住支援法人と連携して進めました。

<2022年度の活動報告>

1 高齢者住宅全般の解説や選び方セミナー、フォーラム等企画の開催。

<東京>

・セミナー

・ 12月12日 上野千鶴子さん講演会を開催 「認知症でも“在宅ひとり死”で！」

20221115日の東京新聞のセミナー告知からの申し込みの反響があり227名の申し込みがあった講師のけがにより会場にてオンライン講座に変更。119名の参加となった。

（マスコミ：浅川澄一さん1名含）

・ 会員事業者による情報交換や、既存新規開設ホーム等の見学会

（コロナ禍による影響を受け、開催なし）

<大阪>

セミナー等 2022年度開催なし

2 住まい方についてのニーズを聞く会を定期的で開催し、情報提供や意見交換、勉強会を行うほか、利用者同士の交流の場としても活用。

東京大阪ともに開催なし

3 高齢者住宅の住み替えだけでなく、それに伴う生活設計、後見人制度や身元引受人、相続の問題なども講師を招いて勉強会を継続的に開催

東京大阪ともに開催なし

4 外部セミナー

東京大阪ともに開催なし

5. メディア露出状況

【テレビ放映】

- ・多摩テレビ 2022年7月24日～27日
「松が谷コミュニティスペース オープニングイベント「まつまる、はじまる」
- ・NHK 総合 2022年4月17日放映
首都圏いちオシ 旅ラン10キロ「多摩丘陵の舞台を訪ねて」
- ・NHK 総合 2022年8月24日放映
ニュースLIVE! ゆう5時「空き店舗を交流拠点に～多摩ニュータウン松が谷団地」
- ・多摩テレビ 2023年4月放映
「愛宕の交流拠点がオープン」

【新聞・雑誌・SNS】

- ・タウンニュース多摩 2022年4月14日
「多摩NTに『新たな活気』交流拠点 人集まる場所へ」
- ・読売新聞 2022年4月16日
「住民が作る交流拠点 多摩NT・松が谷地区」
- ・タウンニュース多摩 2022年4月17日
「多摩NTに新たな活気 交流拠点 人集まる場所へ」
- ・タウンニュース多摩 2022年5月12日
「人物風土記 困難なこそ、我あり 高橋英與さん」
- ・高齢者住宅新聞 2022年5月18日
「多摩NT、団地再生事業 交流拠点で意見交換会」
- ・東京新聞 2022年5月21日
「視点 セーフティネット住宅 困窮者の立場で運用を」五十住和樹
- ・読売新聞 2022年6月12日
「東京春秋 交流拠点作り 住民の手で」
- ・タウンニュース多摩 2022年6月23日
「愛宕団地の窓口『地域のこと、聞かせて』」
- ・タウンニュース八王子
「多摩NTに新たな活気 交流拠点 人集まる場所へ」
- ・タウンニュース多摩 2022年7月7日
「多摩NT内商店街に交流拠点 八王子・松が谷23日オープン」
- ・広報はちおうじ 2022年7月15日号
「交流拠点『コミュニティプレイスマつまる』のオープン記念イベント」
- ・JKK東京プレスリリース 2022年7月14日
- ・卓球王国 2022年7月 SNS
「松が谷に卓球場」
「多摩ニュータウン松が谷住宅における地域交流拠点がオープン」
- ・JKK東京プレスリリース 2022年7月29日
「地域交流拠点『コミュニティプレイスマつまる』に子どもから高齢者まで200名超が集まり大盛況！」
- ・NPO多摩ニュータウン・まちづくり専門家会議木曜サロン
「団地プロデュース型コミュニティ再生計画～愛宕と松が谷でのコミュニティ形成と団地再生モデルの構築へ」
- ・朝日新聞 2022年7月21日

「多摩 NT 再生 住民プロデュース 閉店スーパー知恵集め交流拠点に」

・家主と地主 2022年8月1日号

「高齢者、障害者、地域の子どもから大人まで 多様な人々でにぎわう拠点づくり」

・タウンニュース八王子 2022年8月18日号

「松が谷住宅 待望のコミュニティ開業 まつまる にぎわい見せる」

・タウンニュース八王子 2022年8月18日号

「松が谷住宅 待望のコミュニティ開業 まつまる にぎわい見せる」

・NPOのひろば94号 2023年1月

「空き家を活用した入居を拒まない『ごちゃまぜ型シェアハウス』」

・一般財団法人「地域活性化センター」2023年1月26-27日

「令和4年度【アドバンス型】新たな知と方法を生む地方創生セミナー 地域コミュニティと行政の関わり方」

・全国賃貸住宅新聞2023年1月

「セーフティネット住宅に活用」

・東京新聞 情報コーナー 2022年12月11日

「講演『若い世代がリードする地域協創』ひのさと48に学ぶ多摩ニュータウン再生の挑戦」

・タウンニュース多摩版 2022年12月15日

「多摩 NT の『これから』考える。パルテノン多摩で講演会」

・タウンニュース多摩 2023年1月9日

「京プラ多摩 32年の歴史に幕」

・高齢者住宅新聞 2023年1月18日

「交流の場から団地再生 愛宕に新拠点、多世代集う」

・タウンニュース多摩版 2023年2月16日

「『愛宕』再生へ拠点開設 住民ら主体に今春」

・JKK東京 報道発表 4月10日

「コミュニティプレイスあたごの内覧会を開催」

・タウンニュース多摩版 2023年4月13日

「多世代交流拠点が『あたご』に」15日内覧会」

・もしもし 2023年4月

「愛宕に地域交流拠点がオープン」

【政府刊行物等】

・国交省「住まい環境整備モデル事業 令和3年度事業者交流会記録」

「空き家を活用した『としま福祉支援プロジェクト』」

・一般社団法人全国居住支援法人協議会 包括的居住支援の確立に向けた調査及び研究 2021年度報告書

「空き家を活用した『としま福祉支援プロジェクト』の取り組み

6 定期刊行物発行

2022年度の発行はありませんでした。

3. 高齢者等がグループで共住する場、コミュニティの交流の場、コミュニティ事業の拠点等、新しい生活スタイルを実現するコミュニティの場づくりを支援する（定款第4条（3）事業）

1) 地域コミュニティづくり及び団地再生を支援

「100年コミュニティ」の理念を具現化し、地域とのコミュニティの交流の拠点、ワーカーズ・コレクティブの活動など地域に必要な、生活に密着した仕事を創出することで、地域の活性化やコミュニティの場づくりを支援してきました。

団地再生は建物だけではなく、そこに暮らす人、若者から高齢者まで含めた団地全体の活性化です。100年コミュニティの拠点として、新しい生活スタイルを実現する場づくりを今期も支援してきました。団地再生のコミュニティの拠点は、関東だけでなく、全国の団地でシステムが活用できるように継続して進めてきました。

2) 地域に点在する空き室活用を支援

としま・まちごと福祉支援プロジェクトにおいて、空き室を改修し、交流拠点を整備し、共生サロン南池袋を開設。多世代共生型のコミュニティの場を支援。全国の空き室を活用した社会的弱者を支える交流拠点モデルを推進。

3) 居住支援活動の推進

東京都安心居住パッケージ事業のモデル事業に選定され、セーフティネット住宅の普及する居住支援活動を推進。

4) 団地の空店舗活用した団地再生を支援

多摩プロジェクトにおいて、松が谷にコミュニティプレイス準備室を設置し、八王子市と多摩市の空き店舗を活用した全国の団地の商店街再生モデルを推進。

5) 行政と連携したコミュニティ形成の支援

多摩市より地域自治形成に向けた担い手育成及び住民参画開拓のための中間支援業務を受託し、コミュニティ形成活動を推進。

6) 社会福祉法人の経営再生を支援

社会福祉法人のコンサルティング業務を受託し、東京都小竹向原において、空き室活用、障害者事業、福連携の導入等を検討し、全国の社会福祉法人の経営再生モデルを推進（2022年9月終了）

7) コミュニティ形成の支援

株式会社 HONJO(旧 株式会社本荘倉庫) のコンサルティングを受託し、東京都東大和市において東京都のモデル事業の提案書の支援及び、選定後のコミュニティ形成を支援。

4. コミュニティ事業の指導者、組織者、協力者等の人材を研修、育成するとともに、そのネットワークを構築して協力関係づくりを推進する（定款第4条（4）事業）

1) 地域プロデューサーの育成

コミュニティづくりには、人・もの・金・空間をトータルでプロデュースできる人材が欠かせません。当協会の理念、事業がさらに広がるために、各地区にて、そのノウハウを活用できる地域プロデューサーの取組みを応援しました。

①第9回地域プロデューサー講座の開催

東京家政学院大学の科目等履修生講座として開催しました。7日間15コマ講座のうち、5月17日に東京で2コマ、7月9日に那須で3コマの授業を担当、7名が講座を修了しました。

②第一回団地プロデューサー講座

多摩地区でのまちづくりの経験をふまえ、団地での地域づくりを想定した団地プロデューサー講座を8月21日から25日まで5日間開催しました。高齢化が進む団地のコミュニティにどうやって入り込むか、どのように事業を組み立てるべきか、資金調達はどのようにするかなど多岐に渡る講座と、障がい者就労事業、地域での食の提供事業、DIT（Do it together）ので建設事業などの現場実習という充実のプログラムであり、21名の受講者の満足度も高い講座となりました。

2) 地域プロデューサーの自主的な活動のサポート

地域プロデューサー連絡会のメーリングリストで情報交換等を行い、活動をサポートしました。

6. コミュニティ事業及びコミュニティづくりを促進するための企画の実施及び啓発・広報・出版を行う（定款第4条（5）事業）

広報・編集委員会

1) 会報誌「ゆいま〜る」を年1回発行します

「コミュニティづくりをサポートする」ため、当協会の理念、活動の啓蒙・啓発する媒体としている会報誌「ゆいま〜る」ですが、第51号の発行はできませんでした。

2) 通信を発行します

事業プロジェクトの理念や活動を広げるために3ヶ月に1度発行している「ひろがる・つながる100年コミュニティ」をですが、今年度の発行はできませんでした。

3) ホームページの充実

①協会のHPのあり方を検討し、リニューアルしました。

②豊島、多摩、那須の各プロジェクトのページを拡充しました。

7. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条（6）事業）

1) 見守り制度、市民後見人制度

市民後見制度は、将来の老いの不安に備えた「老後の安心設計」であり、「100年コミュニティ」構想には欠かせない問題となっています。那須で後見人をテーマに2回目のセミナーを行うなど学習は進みましたが、将来の老いの不安に備える安心システムの検討と構築に関する取り組みには至っておりません。

2) その他

共同墓地の供養祭などその他事業は実施がありませんでした。

Ⅲ. 協会運営

1. 総会

2021年6月27日、zoom開催を予定していましたが、諸事情のため書面開催となりました。

2. 臨時総会

今期開催はありませんでした。

3. 理事会（議事録確認の上、記載）

コロナの影響もあり、必要時z o o mで開催しました。

4. 会員加入促進活動

1) 会員の入会促進

- ・セミナー・フォーラム時などでの個人会員の募集および法人会員の募集を行いました。

会員加入状況 2021年3月31日現在 下記は更新確認。

法人：正会員 0 賛助会員 2

団体：正会員 1 賛助会員 0

個人：正会員 13 賛助会員 58

合計 正会員 14 賛助会員 60

2) 情報提供の拡充

- ・各種セミナー・フォーラムなどの情報を通信やメルマガを使って提供しました。

以上